

5月臨時議会 住民投票条例の賛成討論 柴田民雄議員 (5月16日)

市民の意見を聞かずに報酬の引き上げを決めた 政争の具にすることなく、市民の声を聴け

5月16日の臨時会で河村市長が提案した「名古屋
市議会の議員の議員報酬に関する住民投票条例の制定
について」の審議が行われました。この条例案に対し、
柴田民雄議員が、総務環境委員会での質疑をふまえ、
本会議で「条例に賛成」の討論を行いました。柴田議
員の討論を紹介します。

議会自ら市民の意見を聞け

「勝手に決めるな」「市民の声を聞け」と多くの市
民の憤りの声が議場にも届いた通り、市議報酬引き上
げ条例の制定について、議決前に市民の声を聞く取り
組みは行われませんでした。報酬等審議会への諮問が
行われたいという事態であれば、議会基本条例に定め
る通り、議会側で独自に公聴会を開催したり、参考人
を招致するなどすればよかったです。

市民の意見を聞く機会を放棄した議会

今回の議員報酬の引き上げ条例は、その成立過程で、
市民の声を聞く機会を作ることができたにもかかわらず、
それを行わなかったという点で、重大な問題があつた
と言わざるを得ません。市民の皆さんの声を聴く機
会を作るという点から、本住民投票条例案に賛成する
ものです。

住民投票はわかりやすい内容で

今回の議案は、市議の報酬を年額800万円から実質14
55万円にする条例を、市民の声を聞くことなく制定し
た議決への賛否を問うものです。住民投票は、「わか

りやすい、判断しやすい」ものになるよう、市民に正
確な情報を丁寧に知らせる必要があります。

住民投票を政争の具にしない

また、この条例案を否
決されたら次は、議会解
散リコール運動を行うと
市長が発言していると報
道されています。そのよ
うな形で、市民の参政権
を保障する制度である住
民投票を、政争の具として
もてあそんではなりません。

以上の2点を指摘したうえで、この住民投票条例案
に対する賛成討論を終わります。

自・民・公が否決

減税議員も賛成討論を行いました。自・民・公か
らの反対討論はありませんでした。条例案は、共産・
減税の賛成、自・民・公の反対で否決されました。

住民投票に7千万円も使うより 被災者支援を？ (総務環境委員会) 議員報酬引き上げは年4億8千万円ですが…

総務環境委員会では、公明党の議員が「住民投票に7
千万円使うより被災地支援に」と条例否決の理由にし
ていましたが、議員報酬引き上げ分は年4億円8千万
円になることはいいのでしょうか。また、自民党の議
員が議会基本条例の成立過程を棚に上げて、「審議会
の意見が市民意見」といった議論を繰り返しました。



議会基本条例制定研究会での〈座長案〉

- 第 条 議員定数、議員報酬及び政務調査費に関しては、別に条
例で定める。これらの条例について、これを制定し、又は改廃
するときは、議会基本条例の趣旨を踏まえ、議員がこれを提出
する。
- 2 議員定数については、議会基本条例に定める議員の役割を果
たし、市政に民意を反映できるよう、人口比例、他の同規模地
方公共団体との均衡等を考慮し、別に条例で定める。
- 3 議員報酬については、本市の処理する事務の範囲、財政規模
から議員が広範囲な責務を全うするには、議員活動に専念でき
る制度的な保障が必要であることを勸案の上、公選としての職
務及び他の同規模地方公共団体との均衡等を考慮し、別に条例
で定める。

分科会での議論などを経た〈成立した基本条例〉

- 第16条 議員定数及び議員報酬に関しては、別に条例で定める。
これらの条例について、これを制定し、又は改廃するときは、
議会基本条例の趣旨を踏まえ、これを提出する。この場合、民
意を聴取するため、参考人制度、公聴会制度等を活用すること
ができる。
- 2 議員定数については、地方自治法の趣旨を踏まえ、議会基本
条例に定める議員の役割を果たし、各層の多様な民意を市政に
反映させるために必要な人数を確保し、人口比例等を考慮し、
別に条例で定める。
- 3 議員報酬については、地方自治法の趣旨を踏まえ、本市の財
政規模、事務の範囲、議員活動に専念できる制度的な保障、公
選としての職務や責任等を考慮し、別に条例で定める。